

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和6年 8月 1日

計画の名称	地域と連携した河川環境の創出												
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度 （5年間）					交付対象	埼玉県						
計画の目標	地域と連携した河川環境整備を実施することによる、良好な水環境及び河川空間の創出												
計画の成果目標（定量的指標）													
①菖蒲川の浚渫においては、河川環境の改善を図るため、一般的な水質指標の一つであるBOD値の低減 ②越谷市（元荒川・新方川）、志木市（新河岸川・柳瀬川）、さいたま市（綾瀬川）での、遊歩道整備や親水護岸整備では、水辺空間の利用者数の増加													
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値				備考			
①BODの値を水環境改善を目的に設置された連絡会の水質目標値以下とする。 ②水辺空間の利用者数（イベント回数、入込客数）の増						当初現況値	中間目標値	最終目標値	イベント回数（越谷市） 入込客数（志木市） 入込客数（さいたま市）				
						H30	－	R4					
						7.3	－	5.0					
						0回	－	4回					
						138,000人	－	150,000人					
						361,108人	－	450,000人					
拠点施設・重点地区													
特になし													
全体事業費（計画） （百万円）	合計 （A+B+C）		1,766	A	0	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C）		－	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施し、その結果を県土整備部公共事業評価検討会議及び埼玉県公共事業評価監視委員会に報告し参考意見を聴取した。	令和6年8月
	公表の方法
	埼玉県県土整備部河川環境課のホームページ掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A 河川事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（実施） （百万円）	事業進捗	備考
											H30	R1	R2	R3	R4			
	河川	一般	埼玉県	直接	埼玉県	一級河川		総合河川環境整備事業（菖蒲川）	底泥の浚渫	戸田市						345	○	完了
	河川	一般	埼玉県	直接	埼玉県	一級河川		総合河川環境整備事業（元荒川・新方川）	遊歩道、護岸	越谷市						587	○	完了
	河川	一般	埼玉県	直接	埼玉県	一級河川		総合河川環境整備事業（柳瀬川・新河岸川）	遊歩道、護岸	志木市						623	○	完了
	河川	一般	埼玉県	直接	埼玉県	一級河川		総合河川環境整備事業（綾瀬川）	遊歩道、護岸	さいたま市						210	○	完了
小計（総合河川環境整備事業）														1,765				
合計														1,765				

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (実施) (百万円)	事業進捗	備考
										H30	H31	H32	H33	H34			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (実施) (百万円)	事業進捗	備考
										H30	H31	H32	H33	H34			
合計																	
番号																	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		①水質の改善を目標に底泥の浚渫を行ったが、菖蒲川では未処理の生活雑排水の流入もあり、改善も見られたが、目標値に到達しなかった。 ②各市のまちづくりと一体となった良好な河川環境の創出では、新型コロナウイルスにより予定していたイベントが実施できず、利用者数増にはならなかった。				
II 定量的指標の達成状況	指標① BOD75%値を連絡協議会目標値とする	最終目標値	5	目標値と実績値に差が出た要因	未処理の生活雑排水の流入により目標値に到達しなかった。(戸田市)	
		最終実績値	5.7			
	指標② 水辺空間の利用者数増	最終目標値	4回	目標値と実績値に差が出た要因	予定通りウォーキングイベントが開催できた。(イベント回数・越谷市)	
		最終実績値	4回			
			最終目標値	150,000人	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウイルスにより予定していたイベントが実施できなかった。(入込客数・志木市)
			最終実績値	38,300人		
	最終目標値	450,000人	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウイルスにより予定していたイベントが実施できなかった。(入込客数・さいたま市)		
	最終実績値	308,500人				
3. 特記事項 (今後の方針)						
①菖蒲川の水環境改善に向けて、令和4年度以降も引き続き浚渫を行っている。また、今後も水質調査を実施し水環境の把握を行うとともに、関係機関と連絡会を開催し、水環境改善に向けた取組を継続していく。 ②各市のまちづくりと一体となった良好な河川環境の創出では、コロナ禍の終了により本来予定していたイベントが再開できるものと考えられるため、今後も利用状況について確認していく。						